

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業（ニホンジカ）の捕獲と

生息状況調査の結果

1 捕獲の実施結果（県南部区域）

1-1 令和5年度事業における捕獲結果

- 目標捕獲数 53 頭に対して 53 頭が捕獲された。
- ユニット別 CPUE では T1 で 9.15、T2 で 6.59 と T1 がより高い値を示した。
- 幼獣割合は T1 が 15.4%に対し T2 では捕獲されず大きく異なった。
- 成獣メス割合は T2 が比較的高い値を示した
- オス割合は T1 のほうがわずかに高かった。

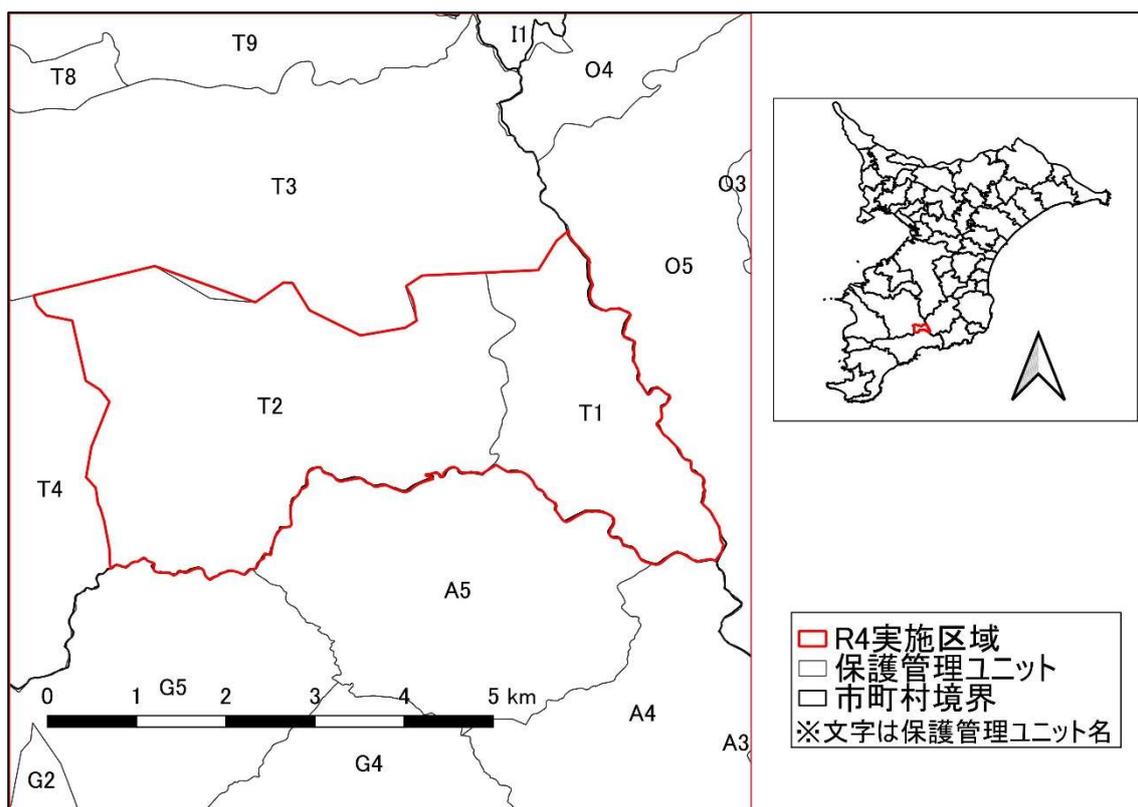


図1-1 事業区域および周辺の保護管理ユニット

表 1-1 ユニットごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

市町村	ユニット	わな日	捕獲数	CPUE	空はじき率 (%)	成獣メス割合 (%)	幼獣割合 (%)	オス割合 (%)	幼獣/成獣メス比
君津市	T1	4,260	39	9.15	2.35	23.1	15.4	66.7	0.7
	T2	2,126	14	6.59	2.82	35.7	0.0	64.3	0.0

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出した。

※CPUEは(捕獲数/わな日)×1000、空はじき率は(空はじき/わな日)×1000とした。

※オス割合は成獣オス・幼獣オスの合算値である。

※幼獣/成獣メス比は幼獣個体数を成獣メス個体数で割った値である。成獣メス捕獲数が0の場合は空欄で示した。

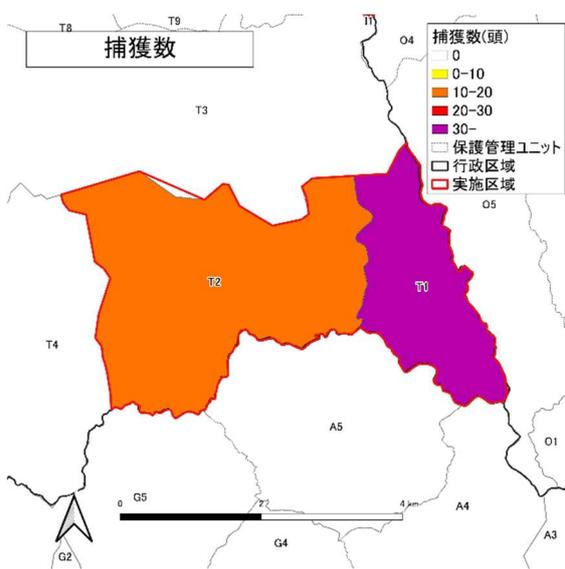


図 1-2 捕獲数

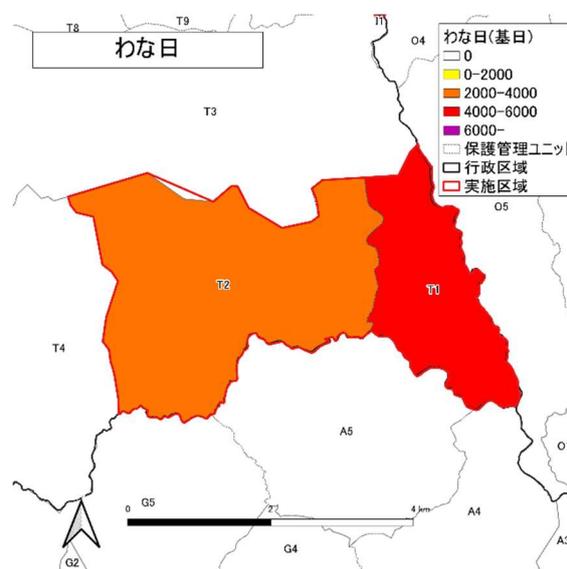


図 1-3 わな日

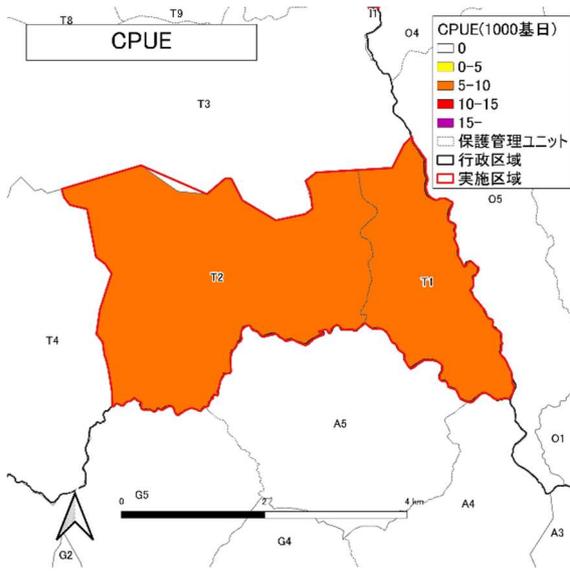


図 1-4 CPUE

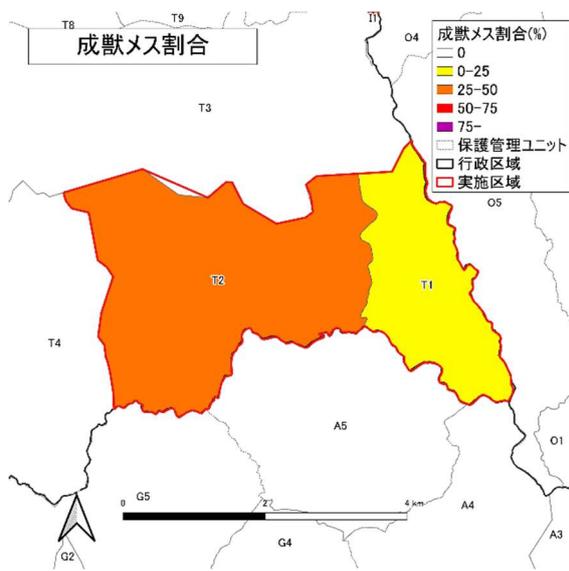


図 1-5 成獣メス割合

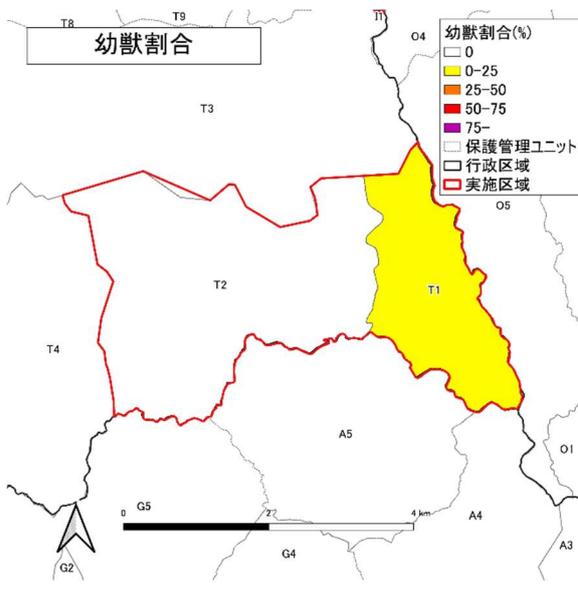


図 1-6 幼獣割合

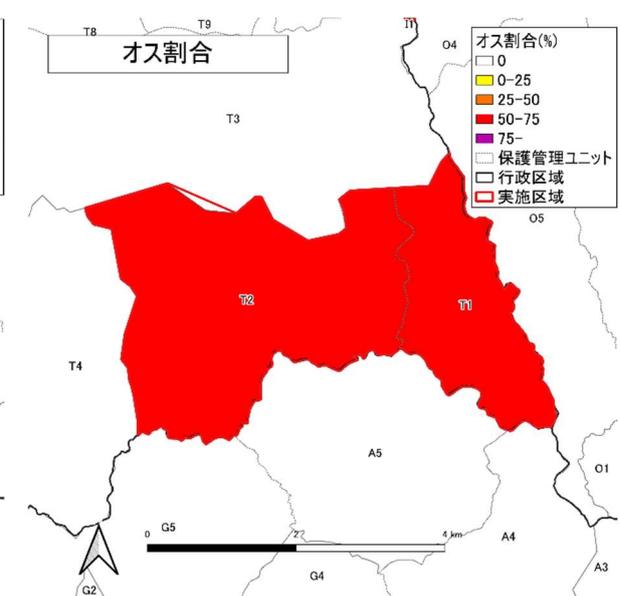


図 1-7 オス割合

1-2 令和3～5年度事業における捕獲結果

- 令和5年度は令和4年度と比較して、T2でCPUEが減少し、T1ではほぼ横ばいであった。令和3年度から比べると全域で減少傾向であった。
- 令和4年度と比較して成獣メス割合はいずれのユニットでも大幅に低下し、幼獣割合はT1で増加、T2で減少した。

表1-2 令和3～5年度のわな数

		R3	R4	R5
君津市	T1	21	99	129
	T2	19	74	50
南部全域		40	173	179

表1-3 令和3～5年度のわな

		R3	R4	R5
君津市	T1	1,158	2,740	4,260
	T2	1,092	2,066	2,126
南部全域		2,250	4,806	6,386

表1-4 令和3～5年度の空はじき率

		R3	R4	R5
君津市	T1	7.77	4.74	2.35
	T2	28.39	6.78	2.82
南部全域		17.78	5.62	2.51

表1-5 令和3～5年度の成獣メス割合

		R3	R4	R5
君津市	T1	27.78	66.67	23.08
	T2	34.38	55.00	35.71
南部全域		32.00	61.36	26.42

表1-6 令和3～5年度の幼獣割合

		R3	R4	R5
君津市	T1	44.44	12.50	15.38
	T2	53.13	5.00	0.00
南部全域		50.00	9.09	11.32

表1-7 令和3～5年度のオス割合

		R3	R4	R5
君津市	T1	33.33	29.17	66.67
	T2	34.38	40.00	64.29
南部全域		34.00	34.09	66.04

表1-8 令和3～5年度のCPUE（1000基日）

		R3	R4	R5
君津市	T1	15.54	8.76	9.15
	T2	29.30	9.68	6.59
南部全域		22.22	9.16	8.30

2 生息状況調査の結果（県南部区域）

2-1 令和5年度調査結果

- 撮影頻度については、T1の方がT2よりも高かった。
- 成獣メスの撮影頻度も、T1の方がT2よりも高かった。

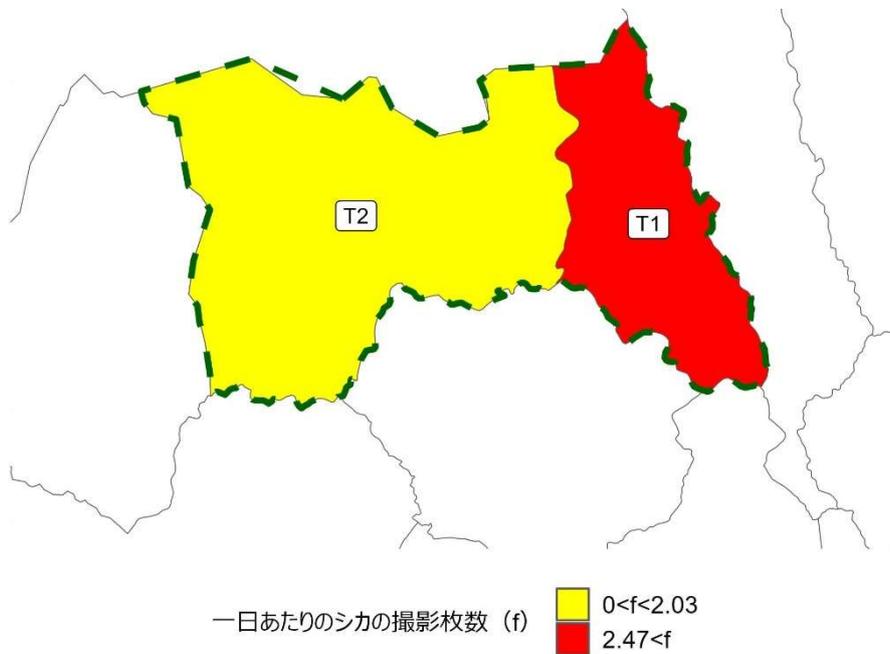


図2-1 シカの撮影頻度

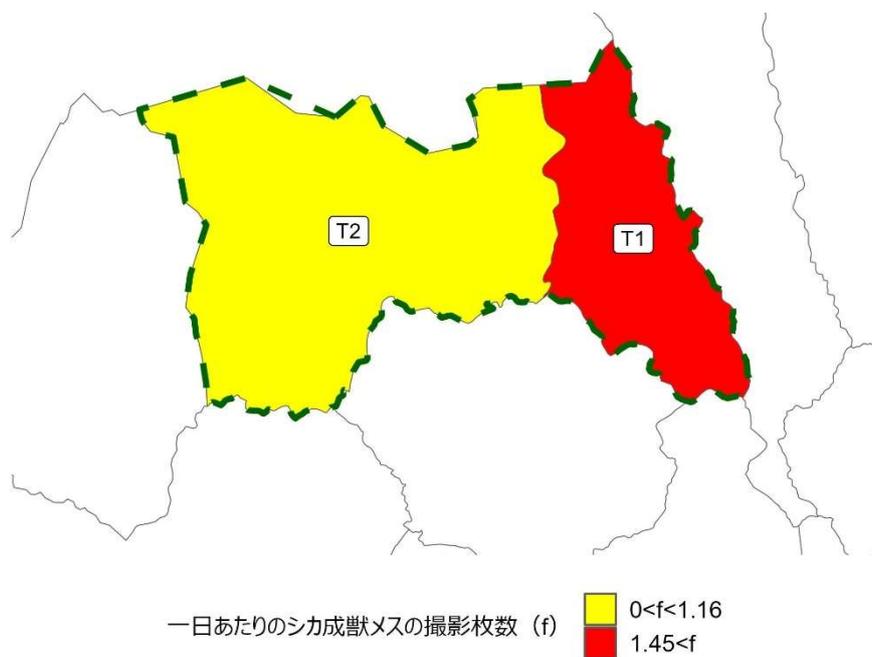


図2-2 シカ成獣メスの撮影頻度